

<p>教育学・心理学</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ 授業改善(算数・数学科)に関する実践的研究</p>
<p>key word</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 算数・数学科</li> <li>■ 授業改善</li> <li>■ 指導方法</li> <li>■ 校内研究</li> </ul>	<p>将来予測が困難な時代を生きる子どもたちが、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら課題を解決する力を身に付けることが大切であるという考えのもと、学習指導要領が改訂された。学校現場では主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善が進められているが、ベテラン教員の定年退職が進み、若手教員の割合が大きくなるなど、学校全体で教員の授業力・指導力を向上させることが大きな課題になっている。</p> <p>本研究では、これらの課題を解決するために、算数・数学の授業改善を窓口にして、資質・能力ベースの学習指導の在り方を追求している。</p>
	<p>【学びの質を高める指導の工夫】～教師のコーディネート力の向上と改善～</p> <p>素晴らしい授業には必ず子どもの解決したい「問い」があり、教師の「見取り」がある。「問い」を引き出すための教材との出会わせ方はどうするのか。一人一人の課題解決の様子や子どものつづやきをどう活かすのか。どの考えをどの場面で取り上げるのか。「あっそうか、分かった」と気づかせるのはいつか。子どもの考えを細かに予想して手立てをもっておき、子どもの様子をきめ細かく見取り、それに応じた手立てを講じる「教師のコーディネート力」に焦点を当てて研究をしている。授業の構想段階からの準備、子どものつづやきや自力解決時の様子から授業をより良くコーディネートする教師の姿を追求したい。</p>
<p>大橋 宏星 Kosei Ohashi</p>	
<p>教職大学院 准教授</p>	
<p>【プロフィール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1999 滋賀大学教育学部 卒業</li> <li>・2001 滋賀大学大学院教育学研究科修士課程 修了</li> <li>・2001 滋賀県公立小学校 教員</li> <li>・2015 滋賀県教育委員会事務局 学校教育課 指導主事</li> <li>・2016 滋賀県教育委員会事務局 幼中教育課 指導主事</li> <li>・2019 滋賀県公立小学校 教員</li> <li>・2021 滋賀大学 教職大学院 准教授</li> </ul>	<p>【子どものつまずきを活かした指導の工夫】</p> <p>全国学力・学習状況調査の調査結果を分析することで、子どもの課題が見えてくる。これまでの全国学力・学習状況調査から滋賀県の子どもたちは、記述問題や式の意味などの基本的な知識理解、学習したことを数字や場面を変えて適用・活用することなど、多くの課題があることがわかってきた。また、割り算の意味の拡張に課題がみられるなど、学習内容の系統性を意識した指導が大切である。</p> <p>分析した子どもの課題から、単元を通してどこに焦点化して指導するのか、子どもの困り感を活かして深い学びにつなげるにはどうしたらよいかなど、子どものつまずきを活かした指導の方法を追求している。</p> <p>【校内研究会の充実】</p> <p>授業改善を行う上で、教員一人一人の授業力向上は欠かせない。そのためには、学校全体で子どもたちを見取る力を育むことが大切である。研究授業の見る視点を教師の所作から子どもたちの学びの姿に変えることで、子どもの学びを中心に据えた事後研究会にすることができる。子どもの学びの姿から授業を語る事後研究会の方法を提案していく。</p> 
<p>【主な社会的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東近江市授業改善推進委員会 算数・数学部会講師</li> <li>・校内研究会・研究協議会等講師</li> </ul>	<p>企業・自治体へのメッセージ</p>
	<p>学校や教育委員会の他、教育関係諸団体での算数・数学の共同研究をお願いします。</p>